和歌三

坂本龍馬

青空文庫

秋の暮れ
嵐山夕べ淋しく鳴る鐘に
こぼれそめてし木々の紅葉

桂小五郎揮毫を需める時示すとて
ゆく春も心やすげに見ゆるかな
花なき里の夕暮の空

○
こゝろからのどけくもあるか野辺ハ猶
雪げながらの春風ぞ吹

○
丸くとも一かどあれや人心
あまりまろきはころびやすきぞ

奈良崎将作に逢ひし夢見て
面影の見えつる君が言の葉を
かしくに祭る今日の尊さ

父母の霊を祭りて
かぞいろの魂やきませと古里の
雲井の空を仰ぐ今日哉

○
ゑにしらが艦寄するとも何かあらむ
大和島根の動くべきかわ

○
常磐山松の葉もりの春の月
あきハあはれと何をもいけん

○
世と共にうつれば曇る春の夜を
朧月とも人は言ふなれ

土佐で詠む
さよふけて月をもめでし賤の男の
庭の小萩の露を知りけり

伏見より江戸へ旅立つとき
又あふと思ふ心をしるべにて
道なき世にも出づる旅かな

淀川を遡りて
藤の花今をさかりと咲きつれど
船いそがれて見返りもせず

泉州名産挽臼

引臼の如くかみしもたがはずば
かかる憂目に逢はまじきもの

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※表題の「三」は、ファイル作成時に補いました。
※十三首の和歌から構成されています。
※三首目の底本和歌写真のキャプションに、（東京　伊藤家文書）とあります。
※八首目の底本和歌写真のキャプションに、（上田　三吉家文書）とあります。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年11月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

和歌三

坂本龍馬

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/